



宝木地区公民館だより

11月29日・30日 宝木地区文化祭

宝木小学校の学習発表会と同時開催で、賑やかな文化祭になりました。

「まちづくり」

「人づくり」拠点の公民館

公民館長 吉田 亨

平成二十年度も残り一ヶ月余りとなりました。

地域の皆様のご協力ご支援をいただき計画通り公民館事業が実施できますことに心からお礼と感謝申し上げます。

さて、鳥取市では一昨年、地区公民館のあり方について「地区公民館の活用策と今後のあり方〔中間まとめ〕」を策定し、

自治会、公民館関係者等に説明会、研修会を開催してきました。

平成二十年度より、地区公民館を生涯学習の拠点、新たに地域コミュニティの拠点として活用することになりました。地域コミュニティの活性化に向け、市民と行政による協働の“まちづくり”取り組みが進められています。

宝木地区公民館で昨年一月、

公民館の運営委員有志・部落代表及び各種団体の代表等による「まちづくり協議会（仮称）」準備会メンバーを決め、三月に設立準備会を立ち上げ、その後、毎月一回定例会を開催し検討してまいりました。

その中で、昨年の十一月十九日「宝木地区まちづくり協議会」組織が成立し、会長に水石裕士様が選出され事務局を宝木地区公民館が担うことになりました。

地域の皆さんが主役となり「まちづくり」「人づくり」の拠点として地域発展の原動力となっていただきたいと思います。

公民館は「生涯学習」「コミュニティ活動」の拠点として職員一同、一層努力してまいりますので今後ともよろしくお願ひします。

ふれまちのみなさんと 三世交代 グラウンドゴルフ大会

徳本 好子

今年もおばあさんと子ども二人と一緒にグラウンドゴルフに参加しました。毎回参加して子どもも楽しみにしています。



グラウンドゴルフは年だけなので、なかなか上手くボールがとんでくれません。子どもは何回もボールを打ってとても苦労していました。

地域の皆さんとも交流が出来、家族で楽しめるので、これからも機会があればとん参加していきたくと思います。

三世代で一緒に楽し

三世代で一緒に楽し



めるグラウンドゴルフは手軽に出来てとてもいいので、これからも企画して下さい。

宝木地区文化祭 サロン・ミニディ作品

亀谷 晶子



「乗せてもらって来ました。」

ここにこの顔のお年寄りのグループ、一人暮らしで買い物も医者に行くのも「たいへん」と話しておられた方達が、自分の作品を見に出て来られ、他部落の作品を見て感心したり「どがして作ってあったらあなあ」など楽しそうに話しがはずんでいました。作っている時は「目がよく見えんけ、細かい仕事は出来ん」、

「草取りばかりしとる手だけようせん」、「こがあなことするなら休めばよかった」など愚痴が出ていましたが、出来る上がる、「われながら良いのが出来た」、「してみれば出来るもんだなあ」と笑顔が



出てきました。

年を取るといろいろな事に消極的になり、新しい事をするのはおっくうなものです

が、仲間と一緒にすることで上げまされ、ひっぱられ、手をこそうと思ってくるものです。こうして文化祭の作品を作ったことで学校に出かけようと思いきな気持ちになったのだと思います。「学校に来て、子どもの明るい顔を見て良かった」、「うちの子ども小さい頃を思い出した」と嬉しそうでした。

「各部落の作品に個性があつて、飾りつけも工夫してあり、見ごたえがあつた」とほめて頂きました。「一緒に出来しよう」と誘ってくださった若い方にも感謝しておられました。各部落でお世話して下さいました。」



公民館事業の様子

書初め大会



福助づくり



女性料理教室



健康ウォーク



なり組福祉員」の皆さま、ありがとうございました。保育園児からお年寄りの作品まで幅広い年齢層の作品が飾られていて心温まる思いがした文化祭でした。

青少年育成部

「おやこ金融教室」に参加して

澤本 英人

十二月二十日の日曜日に「おやこ金融教室」と題して、お金についての学習会を行いました。講師には、金融アドバイザーで、元宝木小学校校長の米沢洋子先生に来ていただきました。十二月・一月は、子供たちにとって、クリスマス、お正月と普段より、多くのお金を持つたり、使ったりする時期です。また、自分の欲しいものを買ってもらえる時期です。この時期に勉強会を行うことは、子供たちにとっても有意義なものになったと思います。

学習していく中で、ビデオを二本見ました。一本は、金融商品、悪徳商法などに関するもので、保護者にも、大変参考になるものでした。もう



一本は、なんでも欲しがるとお姫様が、働くことを通して、物の大切さ、お金の大切さを学ぶ内容のものです。子供たちにも大変わかりやすい内容でした。ビデオの最後に、お姫様が自分の使わなくなったおもちゃを町の子どもたちに配っているところがありました。

物の大切さを学習するときに、3R（リサイクル、リユース、リデュース）など環境に配慮した考えも一緒に学習して欲しいものです。現在私達の生活では多くのものがあふれています。修理して使うより、新品を買ったほうが安いようなものまであります。「壊れるまで使い続けていますか?」「すぐに新しいものを買ってしまっていますか?」「そう自分にも問い返すような内容でした。



この学習会を通して、もう一度「お金の大切さ。」「物の大切さ。」を学ぶいい機会になったと思います。

こども事業 やいもほり



小一 山根 巧也



はじめにさといもをうえましました。おおきなさといもができるようにとおもいました。なんかげつかたって、おおきいはっぱがそだちました。はっぱは、ぼくのせをこしていただきました。きつ

と大きなさといもになっていると思いました。

つぎはさといもほりをしました。さといもをほるのがなかなかむずかしかったですが、な

んとかさといもをほりました。大きなさといもがいっぱいそだっていました。そのさといもは、さといもころっけなどいろいろつくってみんなで食べました。ぼくはさといもをほったかいがありました。



ビーチバレー大会



おもちゃ病院



文化部事業 男女参画

「男の料理教室」に参加して

地原 輝雄

“参加してよかったな!”という印象を強く感じさせられた講習会でした。

やさしいそば打ち!という言葉に誘われて参加申込み。しかし、その時点では三人のみ。少々がっかり、ちよっと心配でしたが当日は九名の男性諸氏、ほっとしたもののやはり心細さは消えませんでした。



午後一時半、因幡そば塾を主宰されている大石先生を講師に、始め三十分程の話しでその後実技との事でしたが、話しが進むにつれ熱が入り、そばの栽培方法から門前そば、江戸そば、田舎そば等の謂いわれ、そばの伝来また米の一・五倍もの栄養価がある等そばに対する研究の深さ知識の豊



富さに感銘し、飽きることなく聞き入ってしまい、あっという間に講話時間が一時間余りも超過していました。

いよいよ実技です。各自エプロン、三角巾で身支度すると、薄げ頭も白髪も隠れ、若返って案外と似合い、結構様になって愛嬌もあり微笑ましい姿でした。

先ずは粉合わせから水まわし、そして練り。指示に従い手順よく簡単に進んだのはここ迄で、その後の延ばしが大変。地延ばしまではなんとか、しかし丸延ばしの段階で円盤状に延ばすことが出来ず、三角あり、長方形あり、また厚さも薄いとこあり、厚いとこあり。一・五ミリ巾を目標に切っ

ていくのであるが、これまた大変。うどん巾あり、ひごいのはきし麺以上の巾で切ったものもあり。皆が誉めたり腐したり、わいわ



ミリ巾を目標に切っ ていくのであるが、これまた大変。うどん巾あり、ひごいのはきし麺以上の巾で切ったものもあり。皆が誉めたり腐したり、わいわ

いがやがや賑やかではあるが、動く手先や顔は真剣、一生懸命でした。

本番の料理作りもカレイの煮付け、野菜のかき揚げ等、各グループ手分けして数種類の品を作りました。自称包丁さばきは慣れた者、手より口が先でなんとか料理らしきものが出て来、そばも茹であがり、盛り付けてみれば、誠に男らしい出来上がりでした。

日も暮れかかり、ゆっくりり食しようという事で、手作り料理を肴に一献傾けることとしました。

同じ地域に住む者同士、親しく膝をつき合せて歓談、飲む程に酔う程によく語り、料理教室の反省も然ることながら話題は徐々に広がり、地域の事、教育の事、はたまた政治論あり、いつの間にか討論会の態となり、なかなか楽しい会でした。

最近ではテレビ等で料理教室が放映されているが、やっぱり実際に



自分でやってみると、耳学問というか目で見て覚えるだけの料理とでは随分の違いがあることを感じました。家でもう一度とは自信はないのですが、そば打ち位はやってみようかな、年越しそばには間に合いそうもないが近々実現したいと思っています。

公民館長さんをはじめ職員の方々の労に感謝し、再度こうした会に参加できる機会を作って頂く様願っています。

編集後記

この一年間ちよっとだけ広報活動に携わり、公民館行事の数々と参加している方々の数に少々びっくりしながらも、編集で何をどこにどのよう載せるか考えるのも楽しかった。不況と痛ましい事件が毎日流れますが、写真の顔はどれもみんな楽しそうにしていました。また、小学生の原稿はひらがなばかりで、なんとも度々読み返すうちに、編集委員も笑顔になりました。お来年度も、もっと沢山の笑顔が届けできればと思います。